

★増額申請61→123→133へ移行8/4)UNIMAS工学部とのgPBL授業

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年08月19日 ～2023年08月29日	マレーシア	サラワク大学	・生命科学科 ・学部2年生、学部3年生、博士1年生	(芝浦工業大学) 学生22名、学生バイト3名、 教員3名 (サラワク大学) 学生25名	SHAHROL BIN MOHA MADDAN(先進国際課程)、 渡邊 直夫(生命科学科)、 花房 昭彦(生命科学科)



図1 3Dプリンター特別講義

2023年8月18日-8月31日の日程でマレーシアサラワク(UNIMAS)大学工学部との合同gPBL授業を実施した。この授業には、芝浦工業大学生命科学科生命医工学コースから学生23名、UNIMAS大学から14名の合計35名の参加があった。本コースから参加した人数としては、過去最多であった。ウェルカムイベントの後で、日本人学生3名とマレーシア学生2名の組み合わせで構成した7つの班に分かれ、UNIMAS病院から借りた車いすを題材にして、各班が以下のいずれかの課題を解決する事に取り組んだ。1班と4班は、快適さと人間工学的な観点から車いすを改良を目指した。また2班と5班は、利便性・使い勝手の良さを追求する事に取り組んだ。加えて、3班6班7班は、移動(モビリティ&公共交通機関移動)の利便性を追求する事に取り組んだ。各班で議論しアイデアだしと目標設定をし、中間発表会で発表と議論を行った。それに続いて後半で、3DCADでの設計と3DPrinterを用いた試作、構造評価解析などに取り組み、最終発表会にて各班の成果発表を行った。なお、本授業は、現地のUNIMAS大学教員らの協力の下で、マレーシアの文化・自然を学ぶ為のウイークエンドツアーを企画頂き、学生達は班で行動しつつ、親睦を深めながら、積極的に互いの国民性を学んでいた。帰りの空港では、マレーシア学生・教員らに見送られ、別れを惜しむ学生達が涙ぐむ場面もあった。以上のように、今年のgPBL授業も、UNIMAS大学からのご協力と本学国際部からの手厚いサポートのお陰で、大成功に終わった。



図2 ウェルカムスピーチ

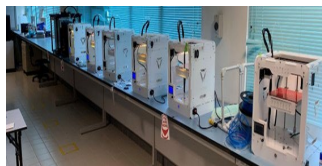


図3 UNIMAS大学の3Dプリンタ



図4 花房教授による3DCAD授業



図5 学生達の製作物